

「一面に本記」 伊達市に新社屋を建設した
「原発30年」 伊達市に新社屋を建設した
「原発30年」 伊達市に新社屋を建設した

初日は富岡町の常盤富岡 法を検証する。
インターチェンジ（IC） 対象区間は浪江、双葉

染する。壁面が舗装されて、市町村などが設置
いる富岡町の区間は、特殊 た囲いで飼育、管理する

3/9 改

風評被害対策に注力

くしま市興

針路を聞く

1面に本記

「震災、原発事故後の政府の知事として電力供給地の府対応をどう評価するか。役割をどう評価するののか。」

「東京都が最初に五輪招きだ。毒だ。わねわね東京都の電力が、日本は総力戦ができた。福島県から仰いでいた。なくなった。そのことを今回の、気の毒という表現で震災であらためて感じ。済む問題ではない。ただ、た。国の官僚が駄目になり、多くの都民は、原発事故が地方にある出先機関は現場、発生してそれを知ったと思に行かない。資料などを使う。原発が事故を起こさな

って処理しようと思うからければ、原発立地地域は限きめ細かい対応ができない。現場に行かなければ分らない情報把握できていない。今ごろ復興庁ができて話にならない。政治が未熟過ぎる」

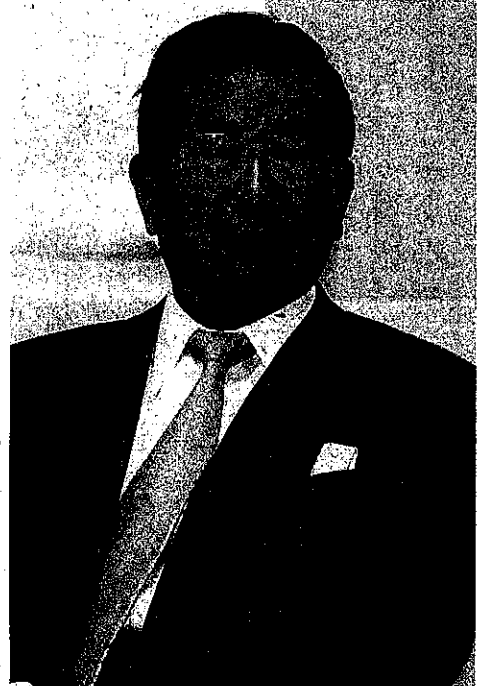
「電力を首都圏に供給してきた原発立地県が甚大な被害を受けた。電力消費地ば、福島県民の気持ちは良

割に合わないツケ

「電力を首都圏に供給してきた原発立地県が甚大な被害を受けた。電力消費地ば、福島県民の気持ちは良

「電力を首都圏に供給してきた原発立地県が甚大な被害を受けた。電力消費地ば、福島県民の気持ちは良

石原都知事



震災、原発事故後の政府の対応を「政治が未熟過ぎる」と批判する石原都知事

く分かる。しかし、太陽系、宇宙は放射能が生命を育んできたと言える。だから『放射能』悪や毒性』とは全く言えない。これからの時代に経済発展を遂げるためにエネルギーの総量がいくらあるか、そのためにどれだけのエネルギーをいかに維持するのか、計算しなければならぬ。そのシミュレーションなしに原子力が怖いでは済まない。原子力が全部危ないわけではなく、秩序とシステムが悪か

「震災以後、東京都は被災地に積極的な支援を行って来た。しかし、太

「震災以後、東京都は被災地に積極的な支援を行って来た。しかし、太

「震災以後、東京都は被災地に積極的な支援を行って来た。しかし、太

東京都は余力ある

放射線 県が責任持ち検査を

てきた。今後は。

「東京都全体で福島県から約8千人が避難している。それは住民の我欲。反対を押し切ってもがけき分らない人もいる。高齢者は望郷の念が募っている。東京には余力がある。個人や地方自治体の力がまから、できるだけのことはやるので、何でも遠慮なく言ってほしい。一方で、放射線の検査は福島県でできるとしてほしい。生産地表示があり値段が同じならば、福島県より他県産にするという消費者意識のハ

ンテがある。福島県の特産物について県が責任を持つて検査すれば、東京都は引き受ける。喜んでやる。観光の風評被害の対策についても支援する。関東知事会を裏聲梯で開催することなどを提案したい」

総理が号令すべき

「震災復興に向けて、国が進むべき道とは何か。政府に求めることは。福島県の場合は難しい問題が残るが、がれき処理一つをとっても、他の自治

聞き手・福島民友新聞社編集局長 加藤 卓哉

12年産米で伊達市方針

旧小国、旧富成作付け制限

500ベク超検出 4地区は字単位で区分

2012(平成24)年産米の作付けで、市内全地区での作付けを
目指していた伊達市は8日までに、1ヘクタール500ベク超のコメが
検出された市内の6旧市町村のうち、旧小国、旧富成両村の2地区
は全域で作付け制限し、そのほかの4地区は、字単位で細かく区分
けして作付け制限する方針を固めた。

作付け制限面積は計約2
00ヘクタールとみられ、市
は、作付け制限となる全水
田で試験栽培を行い、稲が
放射性セシウムを吸収する
仕組みと対策を明らかにす
る考え。

旧月舘、旧掛田両町、旧
柱沢、旧堰本両村でも50
0ベク超は見つかったが、未
検出の水田がまとまっている
地域が多く、除染対策や
水の管理などがしやすいこ
とから、字単位での細かい
区分けでの制限を決めた。

試験栽培では、同市がJ
A伊達みらいなどと連携し
て進めている果樹の除染の
米で、1ヘクタール500ベク
超の放射性セシウムを検出
した伊達、福島、二本松の

7市町の12年産米 作付け方針まとまる

【2012年産米作付け方針】

11年産の 検査結果	市町村名	作付け方針
500ベク超	福島市	大波、渡利地区 で制限
	伊達市	旧小国、旧富成全域制限 4地区は字単位で制限
	二本松市	旧渡川村の吉倉 地区のみ制限
100ベク超 ～500ベク (旧市町村 の地域)	福島市	全域で作付け
	伊達市	〃
	二本松市	〃
	本宮市	〃
	相馬市	旧玉野村で制限
100ベク以下	桑折町	全域で作付け
	国見町	〃

業の手伝いをしてもらう。
試験栽培する作付け制限
の水田は、農家に無償提供
してもらう考え。今後、農
家に確認を取る。500ベク
以下の水田は、管理体制を
強化して全域で作付けす
る。

3市と、1000ベク超5000
以下のセシウムが検出さ
れ、旧市町村単位の全域で
広がる3市を含む7市町の
12年産米の作付け方針がま
とまった。

7市町の作付け方針は
【別表】の通り。この7市町
と、1000ベク超5000以下
のコメが限定された農家で
見つかった11市町は8日、
県を通じて農林水産省に方
針を報告した。同省は合理
性を判断し、9日にも作付
け制限地域を公表する。

アドバイザーに 根本教授を委嘱

水田での試験栽培指導



伊達市は8
日、放射能問
題に関する3
人目の市政ア
ドバイザーに、東大大学院
農学生命科の、根本圭介教
授(51)＝写真＝を委嘱し
た。

根本教授は主に、市内の
500ベク超の放射性セシウ
ムが検出された水田での試
験栽培を指導する。

同日、市役所で委嘱状交
付式が行われ、根本教授は
「昨年県内で500ベク超が
見つかったのは、収穫し、
複数の水田のコメを袋に混
ぜ合わせた後だった。今年
はどの水田のコメが高いか
正確に分かる。ことが勝
負」と意欲を示した。

根本教授はこれまでに県
内で、放射性物質の稲への
吸収率が品種や土壌で差が
あることや、山林に囲まれ
た農地で育った稲から高い
数値が検出される傾向にあ
ることなどを研究してき
た。

セシウム検査結果 (単位: ㍻/キロ)

加工食品

市町村	種類	Cs134	Cs137
大玉村	しみ大根	120	120
二本松市	〃	18	19
〃	〃	68	88
〃	〃	55	74
〃	〃	34	40
〃	〃	30	51
西会津町	〃	— (12)	— (8.9)
〃	〃	— (15)	— (11)
〃	〃	— (8.9)	— (6.1)
柳津町	乾しいたけ	— (31)	— 32
会津若松市	しみ大根	— (11)	— (11)
下郷町	〃	— (13)	— (13)
只見町	〃	— (21)	— (14)
小野町	切り干し大根	9.8	12

今秋収穫物で判

EU方針 日本食品の規

【ブリュッセル共同】欧
州連合(EU)は7日まで
に、東京電力福島第一原発
事故を受け昨年3月以来実
施している日本産食品の放
射性物質検査を義務付ける
輸入規制措置について、今
年秋に日本で収穫される農
作物の放射性物質などによ
る汚染状態を見極めた上
で、規制を解除するかどうか
を決める方針を固めた。E
U当局者が明らかにした。

原発事故から1年以上た
った時点で収穫される農作
物の状態について日本当局
の詳細な調査結果を待つ
て、安全性を最終判断する。
「食の安全」の問題に厳格
なEUの対応
影響を与え
ファミリーマートの支援策
ファミリーマート
店舗などで販売
コンビニ大
一マートが、
ンド会社を涌

被

